

○活動実績

【2025 年度】

1. Keio Showcase プロジェクト事業

概要：

2022 年 12 月以降に KGRI に与えられた新たな Mission である「Keio Showcase の創出」に向け、慶應義塾内の研究者の研究内容と魅力の把握の把握、それらを発信するための研究 Showcase 動画制作を行っている。また、2023 年度に慶應義塾が採択された「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」とも連携し、慶應義塾の目指す「未来のコモンセンスをつくる研究大学」の実現に向けて取り組んでいる。

実績：

1) 研究 Showcase 動画制作

Keio Research Showcase Portal：<https://showcase.kgri.keio.ac.jp/>

- Hidden Jewels シリーズ：6 本
研究力に優れ、異分野との連携や国際連携に意欲のある義塾の研究者（=Hidden Jewels）に光をあて、異分野の研究者を組み合わせることで KGRI の目指す文理融合・領域横断的なテーマ設定による座談会動画を制作した。
- Hidden Jewels スペシャルイベント：5 本
Hidden Jewels として推薦された研究者が登壇し、分野を超えて語り合うスペシャルイベントを開催し、動画を制作した。
- レジェンドシリーズ：2 本
すでに慶應義塾にて大きな功績をあげ評価の確定しているシニア教員を「レジェンド」と位置付けてスポットを当て、トークイベントを開催し、イベントダイジェスト動画を制作した。また、「レジェンド」をフィーチャーしたドキュメンタリー動画を制作した。
- KGRI 内センター紹介動画：3 本
KGRI で活動する KGRI 内プロジェクトやセンターにも焦点を当て、活動を紹介する動画を制作した。
- KGRI Challenge Grant 成果発表動画：3 本
KGRI 研究助成制度「KGRI Challenge Grant」2024 年度採択者による研究成果発表動画を制作した。

2) Working Papers 2 件

①タイトル：[研究報告書 ～web3 ウォレットのルール形成について～](#)

著 者：web3 ウォレット（アンホステッドウォレット）のルール形成に関する研究チーム

②タイトル：[AI を前提とした医療の創生](#)

著 者：村井純、川森雅仁、山本隆太郎、佐野仁美（サイバー文明研究センター メディカルインクルージョン ワーキンググループ）

3) 研究力向上のための教員 URA 雇用

KGRI 所長特別補佐として教員 URA を雇用することで、J-PEAKS 採択後に立ち上げた、URA を中心としたユニット体制を整備した。所長特別補佐が中心となって KGRI で活動する教員 URA を取りまとめ、研究力向上を目的とした研究支援策を主導した。

2. 国際・学際連携強化事業

概要：

国際・学際論文の配信および研究の国際的発信について、学内から候補論文を募り、KGRI で定める一定の基準を満たした論文について、メディアや大学、研究機関を対象に学術ニュース記事の配信を行っている。また、国内外のシンポジウム開催や国際研究集会の招致を通じて、教育研究ネットワークの強化と慶應義塾の国際連携および国際ブランド向上を図る。

実績：

1) 論文発信・研究の国際発信

海外のトップジャーナルに掲載された研究論文をプロモーションするために、引き続き海外メディアサイト EurekAlert!および AlphaGalileo にニュースリリースを配信した。理工学系や医学系に加え、人文・社会科学系の研究論文計 11 本のリリースを配信し、被引用数の増加のみならず、SNS や他のニュースサイト、ブログ等に掲載されるなど、副次的な効果をもたらした。2026 年度は、年間 15 本以上の記事掲載を目標に設定するとともに、2025 年度に公開したニュース記事へのアクセス解析や対象論文の被引用数などの分析を通じて、論文の国際広報を戦略的に推進していく。

2025 年度 配信実績

No.	論文タイトル	申請者 ※論文のプロモーションを依頼した教員
1	The development of professional expertise in preschool teaching in Japan, China, and the United States	林 安希子（商学部 准教授）
2	Sight-over-sound effect depends on interaction between evaluators' musical experience and auditory-visual integration: An examination using Japanese brass band competition recordings	藤井 進也（環境情報学部 准教授）
3	Longitudinal single-cell analysis of glucagon-like peptide-2 treatment in patients with short bowel syndrome	筋野 智久（医学部 准教授）
4	Perceived vibrato and the singing power ratio explain overall evaluations in opera singing	藤井 進也（環境情報学部 准教授）
5	Enhanced subjective performance achievement in wind instrument playing through positive memory recall: effects of	藤井 進也（環境情報学部 准教授）

	sympathetic activation and emotional valence	
6	Effects of a Smartphone-Based Positive Reflection Diary on Work Engagement Among Japanese Workers: Randomized Controlled Trial	島津 明人（総合政策学部 教授）
7	Toward Supramolecular Robotics: Molecular Strategies for Adaptive Soft Materials	伴野 太祐（理工学部 准教授）
8	Motion Reproduction System for Environmental Impedance Variation via Data-driven Identification of Human Stiffness	野崎 貴裕（理工学部 准教授）
9	Acoustic generation of orbital currents	安藤 和也（理工学部 教授）
10	A chill brain-music interface for enhancing music chills with personalized playlists	藤井 進也（環境情報学部 准教授）
11	Intestinal Epithelial MHC Class II Induces Encephalitogenic CD4+ T Cells and Initiates Central Nerves System Autoimmunity	筋野 智久（医学部 准教授）

2) 国際学会の招致

2026 年 1 月 27 日から 28 日にかけて、オランダに拠点を持つクリンゲンダール国際問題研究所の国際専門家グループが主催するウクライナ和平に関する国際会議を慶應義塾大学・三田キャンパスで開催した。

<https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/172593.html>

3) Great Thinker Series

本学の国際研究力および国際的プレゼンスの向上を目的に、世界的に顕著な功績のある研究者を海外より招聘し講演いただき、動画を制作した。

"Envisioning a Sustainable Cyber-Physical Society"

講演者：Professor Scott Fisher, Director, USC Mobile & Environmental Media Lab

<https://showcase.kgri.keio.ac.jp/movie/sc-008/>

3. 戦略的広報事業

概要：

慶應義塾の全研究者の研究の魅力を発掘し、多様なステークホルダーに対して多様なメディアを活用して情報発信するためのシステム基盤とポータルサイトの構築を、最新の生成 AI 技術を活用して進めている。これにより、慶應義塾のサイテーションとレピュテーションの向上及び、研究のネットワーク展開に資する戦略的な広報基盤の拡充を図る。

実績：

1) 生成 AI システム構築と情報発信ポータル構築

研究者・研究情報を一元管理し、研究概要を AI で要約して魅力的に発信する基盤システムの開発を行っており、2025 年度は以下の作業を実施した。

- 2024 年度に構築したパイロットシステム上に学術情報レポジトリ（KOARA）の論文 PDF、科研費報告書 PDF、Web of Science の英文 Abstract を取り込み、教員約 200 名分の研究概要を AI で生成して Showcase 用データベースを整備、Showcase Portal における検索環境のテストを開始した。
- パイロットシステムの評価において、生成 AI を用いることで発生するハレーションの問題を再確認し、精度向上のための追加開発を行った。加えて、2026 年度以降の対象教員拡大に向け、承認フローを含む新規機能の設計・開発を行った。
- Showcase Portal から研究者・研究情報を検索できるよう、生成 AI の RAG（Retrieval Augmented Generative）を検討しテスト運用を行った。

2) J-PEAKS 事業と連動した研究 Showcase ポータルサイトの構築

2024 年度に慶應義塾の全研究者の研究の魅力を発信する「Keio Research Showcase Portal Site」の構築を行ったが、2025 年度は Portal Site の更なる発展のため、コンテンツの充実を図った。

Hidden Jewels 企画等により制作した動画コンテンツの格納だけでなく、学内の様々な学部・研究科で制作されている研究広報誌とも連携し、Portal Site を通じて、学内の様々な場所に格納されている研究関連コンテンツへアクセスできるような、研究関連コンテンツが一元化された Portal を目指している。

4. 若手研究者の育成事業

概要：

若手研究者を中心に、学際・領域複合研究プロジェクトの創成につながる支援策を実施する。KGRI の課題の一つである人文学・社会科学・学際融合系プロジェクト支援の強化について、2024 年度に創設した KGRI 人文社会研究補助金「KGRI Humanity and Social Science Grant（KGRI HSS Grant）」を KGRI 研究助成制度「KGRI Challenge Grant」と統合し、その中で人文社会科学系研究への助成を行う。さらに、研究費申請の支援も試験的に実施する。加えて、外部の人文社会科学系研究者の支援団体も活用し、研究プロジェクトの創出を支援する。

実績：

1) KGRI Challenge Grant：人文社会科学系研究 2 件

- Grant 採択全 10 件（新規 6・継続 4）
- 募集要件に博士号取得後の年限を設けることで、若手研究者に絞って支援を実施した。併せて、不採択者へのフィードバックを通じ、次の外部資金獲得等につながるような継続的な支援や関係構築を行った。

2) 研究費申請書支援：7 名

希望する研究者を募り、個別に応募申請書ブラッシュアップの提案を行った。

【2024 年度まで】

国際的研究成果をもった若手研究者・国際卓越先導プロジェクト創設人材の招聘

1) 国際的研究成果をもった若手研究者の招聘（KGRI 特任教員紹介ページ）

【2021～2023 年度】

概要：国際的に活躍する若手研究者を育成する制度を設け、国内外から優秀な若手研究者を招いています。2021 年度から立ち上げた3年間のプロジェクト「2040 独立自尊プロジェクト」の活動を支えるため、国際的研究成果をもった人材として特任教員を雇用しました。

実績：（英語）<https://www.kgri.keio.ac.jp/en/project-assistant-professor/yr-index.html>

（日本語）<https://www.kgri.keio.ac.jp/project-assistant-professor/yr-index.html>

2) 国際卓越先導プロジェクト創設人材の招聘

【2023 年度】

国際的に卓越した研究大学を目指し、国際卓越先導プロジェクト創設人材として2023 年度より特任教授を任用し、文部科学省の補助金である「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」の申請準備において中心的役割を務め、同事業の採択を果たしました。

<https://www.keio.ac.jp/ja/news/20231226-1/>



（J-PEAKS 事業の本学の取り組み全体像）

3) J-PEAKS 事業と連動した活動、体制整備

【2024 年度】

2023 年度に国際卓越先導プロジェクト創設人材として任用した特任教授を継続して雇用しました。また、当該特任教授を中心に、「慶應義塾グローバルリサーチ発展事業」および「J-PEAKS 事業」に従事する特任教員および専門員を新たに採用しました。併せて、2025 年度以降に採用予定の人材の採用活動を実施し、KGRI 内部の体制強化を図りました。

トップクラス研究者招聘

【～2022 年度】

概要：2018 年 5 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで、Cybersecurity 分野で高名なデイビッド・ファーバー博士(David Farber アメリカ国籍)を外国人研究者特別枠で招聘(雇用)しました。現在、KGRI の研究プロジェクトである、サイバー文明研究センターの共同センター長として、全学的な取り組みを進めています。

※デイビッド・ファーバー教授(慶應義塾大学教授 / Distinguished Professor)は、その 50 年以上の研究活動を通じて、エレクトロニクス、プログラミング言語、分散コンピューターの分野の基盤を確立し、科学の振興に多大な貢献をもたらした。このような輝かしい功績が、情報・コンピューティング&コミュニケーション分野の多くの科学者から認められ、称賛を集めた結果、名誉あるアメリカ科学振興協会(世界最大級の学術団体、the American Association for the Advancement of Science [AAAS])のフェローに就任した。(2019 年 2 月 16 日就任式)

<https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/050785.html>

・実績(抜粋)：

英)

<http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-1.html>

<http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-2.html>

<http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-3.html>

<http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-4.html>

日)

<http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-1.html>

<http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-2.html>

<http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-3.html>

<http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-4.html>

アーカイブ式レクチャーシリーズ実施

【～2023 年度】

概要：本学の国際研究力および国際的プレゼンスの向上を目的に、先端分野で世界的に著名な研究者を招聘し講演頂き、その動画を後日 WEB 上で公開しています。これにより、講演会時にとどまらず、オンライン上においても広く国内外に発信しています。

KGRI Lecture Series：世界トップクラスの大学・研究機関に籍を置く研究者のクロス・アポイントメントによる講演

KGRI Great Thinker Series：世界的に顕著な功績のある研究者等を海外より招聘した講演

KGRI Virtual Seminar Series：国内外でオンライン開催をした講演

実績：KGRI Lecture Series

英) <http://www.kgri.keio.ac.jp/en/lecture-series/index.html>

日) <http://www.kgri.keio.ac.jp/lecture-series/index.html>

日時：2023 年 5 月 30 日（火）15:00-17:30 会場：信濃町キャンパス総合医科学研究棟 1 階ラウンジ

タイトル&講演者：

- 1) "Mechanism of therapeutic action of ropinirole in spinal motor neurons derived from ALS patients"
森本 悟（医学部教授）
- 2) "FMRP axonal retrograde transport is critical for its clearance and regulation of translational activity"
Marco Terenzio, Ph.D.（沖縄科学技術大学院大学准教授）
- 3) "Designer DNA drug therapy for neurodegenerative disease"
Don W. Cleveland, Ph.D.（カリフォルニア大学サンディエゴ校 細胞および分子医学の学科長/教授）

② "知的財産法講演会特許制度と特許庁 - その任務とインセンティブ "

日時：2023 年 10 月 12 日（木）18:15-20:00

会場：三田キャンパス 東館 6 階 G-Lab

講演者：Prof. Dr. jur. Christoph Ann, LL. M (TUM School of Management, Chair for Intellectual Property, Distinguished Guest Professor, Keio University [Global])

実績：KGRI Great Thinker Series

英) <http://www.kgri.keio.ac.jp/en/great-thinker-series/index.html>

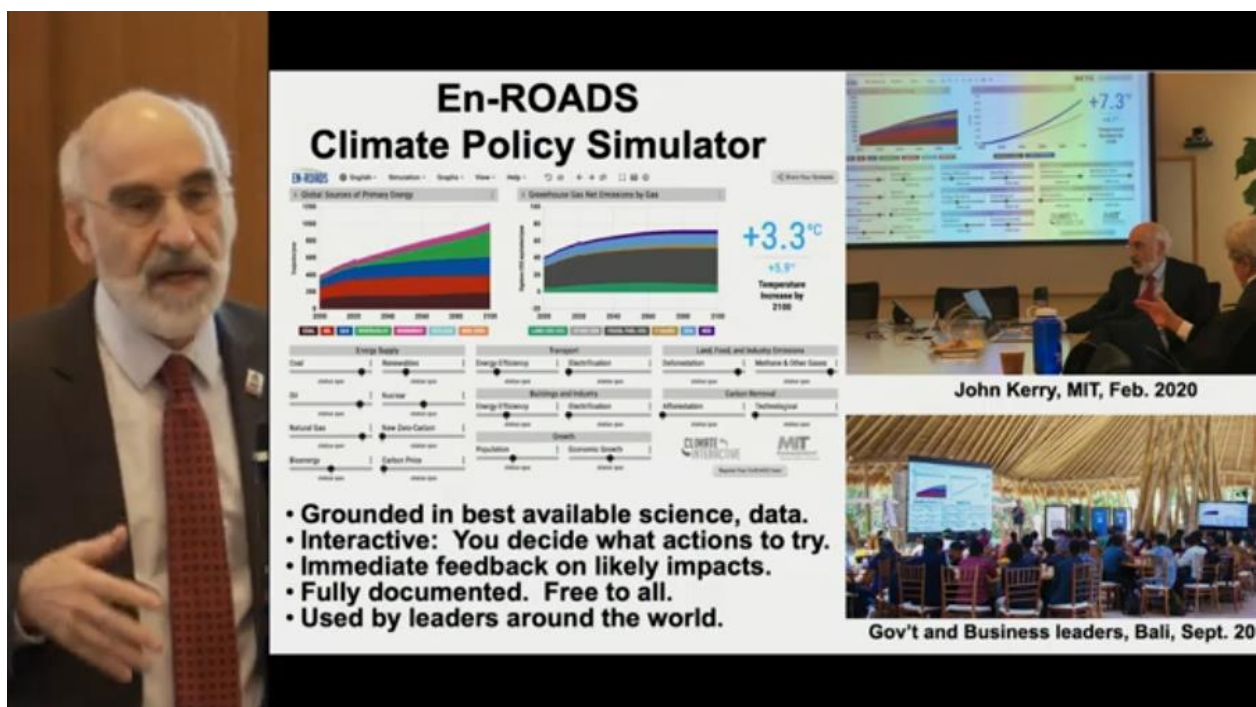
日) <http://www.kgri.keio.ac.jp/great-thinker-series/index.html>

"The En-ROADS Climate Workshop "

講演者：John D. Sterman（Director of the MIT System Dynamics Group and the Sustainability Initiative at MIT Sloan School of Management, Cambridge, MA, USA）

日時：2024 年 1 月 23 日（火）14:00-16:00

会場：三田キャンパス東館 8 階ホール



(John D. Sterman MIT 教授)

実績：KGRI Virtual Seminar Series（オンデマンド開催）

英) <https://www.kgri.keio.ac.jp/en/virtual-seminar-series/index.html>

日) <https://www.kgri.keio.ac.jp/virtual-seminar-series/index.html>

① Data and Security as the U.S. and China Face Off

主催：ウォール・ストリート・ジャーナル

日時：2023年5月10日（水）18:30-19:30 オンライン開催

モデレーター：ピーター・ランダース（ウォール・ストリート・ジャーナル東京支局長）

パネリスト：牧島かれん（衆議院議員）、ジョッシュ・チン（ウォール・ストリート・ジャーナル

中国支局副支局長）、國領 二郎（総合政策学部 教授）



(オンラインでのセミナー開催)

国際的に卓越した研究大学としての実績構築

概要：

世界と伍する研究大学にむけて：国際的に卓越した研究大学を目指し、国際研究、学際研究を戦略的に推進して、慶應義塾のサイテーションとレピュテーションの向上につなげます。

2023 年度からは、KGRI の新たなミッションとして、慶應義塾の全研究者の「研究内容と魅力」の把握と発信を行う「研究 Showcase」の構築に着手しました。具体的には、全学部長・研究科委員長から推薦を受けた領域横断的、国際的研究推進の核となる研究者たちを Hidden Jewels とし、その研究内容を慶應義塾内外に動画で紹介する Hidden Jewels 企画を次の通り実施しました。

実績：Hidden Jewels Session

【2023 年度】

第 1 回)

日時：2 月 6 日 (火) 16:00～18:00

会場：三田キャンパス東別館 9 階カンファレンスルーム

研究発表： ヒトの脳を知りたいのに、マウスの脳を研究する意味は？

『脳の双方向トランスレーショナルリサーチ』

田中 謙二教授 (医学部先端医科学研究所 脳科学研究部門)

サロントーク及び質疑応答

田中 謙二教授 (医学部先端医科学研究所 脳科学研究部門)

山本 龍彦教授 (KGRI 研究広報 Lead、法務研究科、KGRI 副所長)

牛場 潤一教授 (KGRI 研究広報 Lead、理工学部生命情報学科)

大久保 健晴教授 (KGRI 研究広報 Lead 法学部政治学科)



(田中謙二 医学部教授と、KGRI 研究広報 Lead 3 名によるサロントーク)

第2回)

日時：2月21日(水) 10:00～12:00

会場：三田キャンパス東別館9階カンファレンスルーム

研究発表：『なぜパレスチナ・イスラエルの衝突は終わらないのか——中東の紛争が長期化する背景を読み解く』

錦田 愛子教授(法学部政治学科)

サロントーク 及び 質疑応答：

錦田 愛子教授(法学部政治学科)

山本 龍彦教授(KGRI 研究広報 Lead、法務研究科、KGRI 副所長)

大久保 健晴教授(KGRI 研究広報 Lead 法学部政治学科)

研究発表：『政策現場で経済学は役に立つのか？競争政策分野における経済分析の活用状況』

久保 研介准教授(商学部)

サロントーク及び 質疑応答：

久保 研介准教授(商学部)

山本 龍彦教授(KGRI 研究広報 Lead、法務研究科、KGRI 副所長)

大久保 健晴教授(KGRI 研究広報 Lead 法学部政治学科)



(錦田 愛子 法学部教授と、KGRI 研究広報 Lead 2 名によるサロントーク)

【2024 年度】

2023 年度に引き続き、KGRI の新たなミッションとして、慶應義塾の全研究者の「研究内容と魅力」の把握と発信を行う「Research Showcase」の構築に着手しました。具体的には、全学部長・研究科委員長から推薦を受けた領域横断的、国際的研究推進の核となる研究者たちを Hidden Jewels とし、その研究内容を慶應義塾内外に動画で紹介する Hidden Jewels 企画を次の通り実施しました。3 月には、2024 年度の Hidden Jewels まとめセッションと位置付けた「学問の社会実装を目指して」を実施し、「文系」研究の必要性や Research Showcase が目指すべき姿について、慶應義塾外からも登壇者を招き議論しました。

第 1 回)

開催日時	2024 年 5 月 1 日 (水) 18:00-20:30
場所	三田キャンパス北館 1 階ファカルティクラブ
研究発表 (各 20 分)	①「SF (サイエンス・フィクション) が照らす未来の社会課題」 大澤 博隆 (理工学部 管理工学科 准教授)
	②「異分野連携・融合による新しい科学技術のかたち」 井奥 洪二 (経済学部 教授)
異分野融合サ ロントーク (各 30 分)	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座 談会を実施 ・山本 龍彦 (法務研究科 教授/KGRI 副所長/KGRI 研究広報担当 Lead) ・牛場 潤一 (理工学部 生命情報学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead) ・大久保 健晴 (法学部 政治学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead)
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#hidden-jewels

第 2 回)

開催日時	2024 年 6 月 5 日 (水) 18:10-20:30
場所	三田キャンパス北館 1 階ファカルティクラブ
研究発表 (各 20 分)	①「うつの医療人類学」 北中 淳子 (文学部 教授)
	②「生きるとは何か～人間を研究するための新たな視点～」 新妻 雅弘 (システムデザイン・マネジメント研究科 准教授)
異分野融合サ ロントーク (各 30 分)	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座 談会を実施 ・山本 龍彦 (法務研究科 教授/KGRI 副所長/KGRI 研究広報担当 Lead) ・牛場 潤一 (理工学部 生命情報学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead) ・大久保 健晴 (法学部 政治学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead)
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#hidden-jewels

第 3 回)

開催日時	2024 年 6 月 21 日 (金) 18:10-20:40
場所	三田キャンパス南校舎 3 階社中交歓 萬來舎

研究発表 (各 20 分)	①「経営学の可能性、可能性の経営学」 岩尾 俊兵 (商学部 准教授)
	②「材料化学と AI の隙間を埋める」 畑中 美穂 (理工学部 化学科 准教授)
異分野融合サ ロントーク (各 30 分)	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座談会を実施 ・ 山本 龍彦 (法務研究科 教授/KGRI 副所長/KGRI 研究広報担当 Lead) ・ 牛場 潤一 (理工学部 生命情報学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead) ・ 大久保 健晴 (法学部 政治学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead)
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#hidden-jewels

第 4 回)

開催日時	2024 年 7 月 25 日 (木) 18:10-20:40
場所	三田キャンパス北館 1 階ファカルティクラブ
研究発表 (各 20 分)	①「運動制御の心理学」 板口 典弘 (文学部 准教授)
	②「ヒトとロボットとをつなぐ技術」 野崎 貴裕 (理工学部 システムデザイン工学科 准教授)
異分野融合サ ロントーク (各 30 分)	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座談会を実施 ・ 山本 龍彦 (法務研究科 教授/KGRI 副所長/KGRI 研究広報担当 Lead) ・ 牛場 潤一 (理工学部 生命情報学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead) ・ 大久保 健晴 (法学部 政治学科 教授/KGRI 研究広報担当 Lead) ・ 北中 淳子 (文学部 教授/座談会ホスト) ・ 徳永 聡子 (文学部 教授/座談会ホスト)
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#hidden-jewels

第 5 回)

開催日時	2024 年 10 月 10 日 (木) 18:10-20:40
場所	三田キャンパス南校舎 3 階社中交歓 萬來舎
研究発表 (各 20 分)	①「オルタナティブデータから探る健康リスク」 井深 陽子 (経済学部 教授)

	②「自然なお産しか取り扱わない助産師が、なぜ助産学に工学的視点を取り入れるのか？」 ～周産期医療分野における現状と課題～ 金澤 悠喜（看護医療学部 専任講師）
異分野融合サロントーク （各 30 分）	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座談会を実施 ・山本 龍彦（法務研究科 教授／KGRI 副所長／KGRI 研究広報担当 Lead） ・駒村 圭吾（法学部 教授／座談会ホスト）
開催報告	【開催報告】2024 年度 第 5 回 Research Showcase - Hidden Jewels Session Vol. 12 & 13 (2024.10.10 開催) 慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート

第 6 回)

開催日時	2024 年 11 月 14 日（木）18:10-20:40
場所	矢上キャンパス 14 棟 創想館 7 階 フォーラム
研究発表 （各 20 分）	①「世界はどこにあるのか？」 荒畑 靖宏（文学部 教授） ②「デジタルデータで挑む活版印刷術黎明期の活字研究」 安形 麻理（文学部 教授）
異分野融合サロントーク （各 30 分）	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座談会を実施 ・山本 龍彦（法務研究科 教授／KGRI 副所長／KGRI 研究広報担当 Lead） ・牛場 潤一（理工学部 生命情報学科 教授／KGRI 研究広報担当 Lead）
開催報告	【開催報告】2024 年度 第 6 回 Research Showcase - Hidden Jewels Session Vol. 14 & 15 (2024.11.14 開催) 慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート

第 7 回)

開催日時	2024 年 12 月 18 日（水）18:10-20:40
場所	三田キャンパス南校舎 3 階社中交歓 萬來舎
研究発表 （各 20 分）	①「消費者の商品選択プロセスの研究～文理融合の成果より～」 清水 聡（商学部 教授）

	②「コンピューティングとパーソナライゼーションは何処へ行くのか？」 大越 匡（環境情報学部 准教授）
異分野融合サ ロントーク （各 30 分）	それぞれの研究発表終了後に、発表者と以下の KGRI 研究広報担当 Lead による座談会を実施 ・山本 龍彦（法務研究科 教授／KGRI 副所長／KGRI 研究広報担当 Lead） ・牛場 潤一（理工学部 生命情報学科 教授／KGRI 研究広報担当 Lead） ・馬籠 太郎 氏（株式会社電通デジタル）
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#hidden-jewels

『学問の社会実装を目指して』 Hidden Jewels Session -Special Edition Vol.1-

Hidden Jewels Session - Special Edition Vol1 - および「さががけ」・「創発的研究支援事業」研究者研究発表・交流会と合同で開催しました。

開催日時	2025 年 3 月 3 日（月） 15:00-18:30
場所	三田キャンパス北館 1 階ファカルティクラブ
サロントーク 1	「文系」研究は社会に必要なのか？ モデレーター: 山本 龍彦 [法務研究科 教授 (KGRI 副所長)] 登壇者 ・吉村 行夫氏 [株式会社電通 ラジオテレビビジネスプロデュース局 業務部長] ・徳島 大介氏 [日本電気株式会社 デジタルトラスト推進統括部 ディレクター] ・堀 潤氏 [株式会社わたしをことばにする研究所代表／ジャーナリスト]
サロントーク 2	Research Showcase が目指すもの モデレーター: 樋口 亜由美 [KGRI 特任准教授 (URA)] 登壇者 ・山本 龍彦 [法務研究科 教授 (KGRI 副所長)] ・牛場 潤一 [理工学部生命情報学科 教授] ・山口 徹 [文学部 教授、研究連携推進本部 副部長] コメンテーター ・中妻 照雄 [経済学部 教授 (KGRI 所長)] ・清水 聡 [商学部 教授]
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/special-contents/04.html

各種研究教育紹介情報発信、交流

概要：

慶應義塾の研究者の研究成果の発信および慶應義塾内の研究者間の交流促進・分野横断的研究の創出を目的としたイベントの開催を行っています。

1) Working Paper

KGRI 所員および KGRI 研究プロジェクトのメンバー等が、研究の成果を学術論文や書籍等による正式発表の前後に、Web サイトで公開することにより、研究所内外の研究者による利用、ディスカッションに供することを目的としています。そのため、査読前のもの査読中のものなど、様々なバージョンのものがあり、大学付属研究所ならではの自由な学術的議論への貢献を目指しています。

英) <https://www.kgri.keio.ac.jp/en/working-paper/index.html>

日) <https://www.kgri.keio.ac.jp/working-paper/index.html>

実績：

【2023 年度】

①タイトル： 共同提言「健全な言論プラットフォームに向けて ver2.0—情報的健康を、実装へ」

著 者： 鳥海 不二夫（東京大学大学院工学系研究科教授）
山本 龍彦（大学院法務研究科教授/KGRI 副所長）

②タイトル：「2040 年に向けた健康寿命延伸のための行動変容デジタルプラットフォームの提案」

著 者：2040 独立自尊プロジェクト、健康寿命延伸チーム

（ダイジェスト版とフルテキスト版がある。現在は日本語版のみで、英語版は後日公開予定。）

③タイトル：「Comparative Law Research on the Personal Data Protection Law in Various Countries」

著 者： 編集代表 山本龍彦（大学院法務研究科教授/KGRI 副所長）
編集 飯田 匡一（大学院法務研究科 研究員、弁護士）
編集 佐藤 太樹（大学院法学研究科 博士課程）

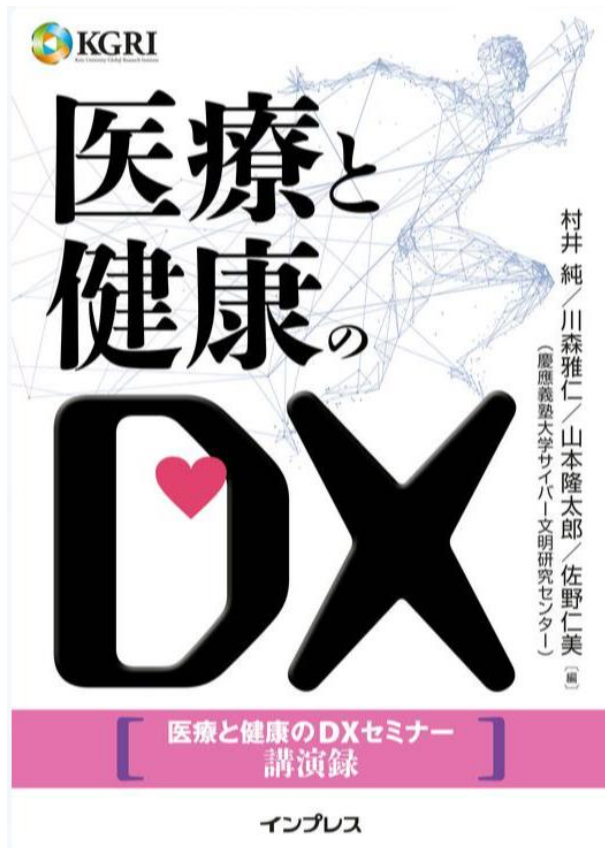
④タイトル： 「医療と健康の DX」

共同編集者：村井 純（慶應義塾大学教授・サイバー文明研究センター共同センター長）

川森 雅仁（大学院政策・メディア研究科 特任教授）

山本 隆太郎（SFC 研究所 上席所員）

佐野 仁美（大学院政策・メディア研究科研究員、サイバー文明研究センターメンバー）



⑤タイトル： 「Comparative Law Research on the Personal Data Protection Law in Various Countries

(Version 2.0)」※仮訳（後日完全版を公表）

著 者： 編集代表 山本 龍彦（大学院法務研究科教授/KGRI 副所長）
編集 飯田 匡一（大学院法務研究科 研究員、弁護士）
編集 佐藤 太樹（大学院法学研究科 博士課程）

【2024 年度】

①タイトル： Japan Beyond Asia: How the Middle East could be integrated into the Indo-Pacific Geostrategy

著 者： 小林 周

②タイトル： Conditions for Peace: Conflict Resolution by Diplomacy and Coercive Measures

著 者： 相良 祥之

③タイトル： Calibrating Social Theories of Digital Technology based on Japan's COVID-19 Response: Surveillance Capitalism and Cyber Civilization

著 者： Harald Kümmerle

④タイトル： 共同提言「健全な言論プラットフォームに向けて ver2.1—情報的健康を、実装へ」

著 者： 鳥海 不二夫、山本 龍彦

⑤タイトル： 2040 年に向けた健康寿命延伸のための行動変容デジタルプラットフォームの提案

(英語版)

著 者：健康寿命延伸プロジェクトチーム
(2023 年度の日本語版に続き、英語版が公開)

2) 研究成果発表会・研究者交流会

KGRI のミッションである、文理融合、学際的、領域横断的な研究を部門横断的に支援すること
を

目的として、研究成果発表会・研究者交流会を開催しています。

実績：

【2023 年度】

第 1 回)

2022 年度新規設置プロジェクト代表者 6 名による成果発表と質疑応答、研究者交流会を実施しました。

開催日時	2023 年 7 月 28 日 (金) 17:00-20:00
場所	三田キャンパス北館 1 階 ファカルティクラブ
＜第 1 部＞ 研究成果発表会	研究成果発表 6 名： 細谷 雄一（法学部教授）、駒村 圭吾（法学部教授）、小熊 祐子（スポーツ医学研究センター准教授）、ロドニー・バンミーター（環境情報学部教授）、満倉 靖恵（理工学部 教授）、君嶋 祐子（法学部教授）
＜第 2 部＞ 研究者交流会	KGRI 独自の研究補助金（*）であるスタートアップ研究補助金およびプレ・スタートアップ研究補助金の採択者紹介、歓談
開催報告	日） https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/151510.html

* KGRI 独自の研究補助金について：<https://www.kgri.keio.ac.jp/project-assistant-professor/kgri-index.html>



第 2 回)

最終年を迎えた 2040 独立自尊プロジェクトの成果発表と質疑応答、研究者交流会を実施しました。

開催日時	2023 年 11 月 10 日 (金) 18:30-21:10
場所	三田キャンパス北館 1 階ホール、会議室 2
<第 1 部> 研究成果発表会	【2040 独立自尊プロジェクト】 安井 正人 2040 独立自尊 PJ 統括責任者 (医学部 教授) <長寿>健康寿命延伸プロジェクト：「健康長寿社会 KGRI ロールモデル」の確立 安井 正人 医学部教授/PJ リーダー、加藤 靖浩 KGRI 特任講師、 鳥谷 真佐子 KGRI 特任教授 <安全>プラットフォームと『2040 年問題』：ネットワーク空間の新秩序形成 山本 龍彦 法務研究科教授/KGRI 副所長/PJ リーダー 河嶋 春菜 東北福祉大学准教授 (前 KGRI 特任准教授) <創造>革新的ソフトマター統合プロジェクト 泰岡 顕治 理工学部教授/PJ リーダー、浅井 誠 KGRI 特任教授、スマリ・ブ ライアン KGRI 特任講師
<第 2 部> 研究者交流会	2040 独立自尊 PJ 成果発表者および KGRI メンバーの方々と KGRI の現在と未来 に関して歓談
開催報告	日) https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/160498.html



(2040 独立自尊プロジェクトによる成果発表)

第 3 回)

KGRI 独自の研究補助金・スタートアップ研究補助金およびプレ・スタートアップ研究補助金受給者による研究発表を実施しました。各発表は動画化し、KGRI ウェブサイトにて公開しました。

開催日時	2024 年 3 月 29 日 (金) 16:30-19:30
場所	三田キャンパス北館 1 階ホール、ファカルティクラブ
<第 1 部> 研究成果発表会	スタートアップ研究補助金受給者による研究成果発表
<第 2 部> 研究者交流会	プレ・スタートアップ補助金受給者によるポスターセッション (1 名約 2 分間の研究紹介フラッシュトーク) および交流会
発表動画	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#kgri

* 受給者・発表動画の詳細

No.	研究・動画テーマ	発表者
1	異分野研究交流会 ダイジェスト版	全発表のダイジェスト
2	社会性と情動の学習 - 文化と身体的学習の側面から - (英語発表)	林 安希子 (商学部 准教授)

3	学際的アプローチによる COVID-19 後遺症の実態把握と治療戦略創出（英語発表）	南宮 湖（医学部感染症学 専任講師）
4	心理学的・数学的アプローチによる多様な格子錯視の解明と表現（英語発表）	森 将輝（環境情報学部 専任講師）
5	フェムテック開発のための事前調査 ～人工子宮の倫理問題を LARP を通じ探索する～	長谷川 愛（理工学部機械工学科 准教授）
6	結核蔓延度から考える透析患者への IGRA 検査による潜在性結核診断・治療の意義	吉藤 歩（医学部感染症学教室 専任講師）
7	文化芸術を日常に取り入れた社会福祉サービスの設計～Cultural Social Welfare Service Design for the Aging Society～	佐藤 千尋（メディアデザイン研究科 専任講師）
8	AI との対話による問題解決場面における心理過程の解明	菅 さやか（文学部人間科学専攻 准教授）
9	ドラマージストニアの脳内機序解明 ～Neural Mechanisms of Drummer's Dystonia～	藤井 進也（環境情報学部 准教授）
10	1 分子の自律的な側方拡散による神経興奮性制御機構の解明 ～タウタンパク質による GABA 受容体の神経細胞膜表面における側方拡散制御～	前田 純宏（医学部生理学教室 II 講師（学部内・有期））
11	軟骨伝導補聴器格納式義耳の音響的安定性の最適化研究 ～小耳症患者さんの笑顔と自信と良い聞こえのために～	西山 崇経（医学部耳鼻咽喉科 専任講師）
12	ワクチン接種の最適な自己決定に貢献する POCT 型免疫予測システムの構築 ～自分の免疫も自分でスマートに決める社会を目指して～	上蓑 義典（医学部臨床検査医学教室 専任講師）
13	筋肉・骨・脂肪の加齢変化：日米伊の国際比較	大澤 祐介（健康マネジメント研究科 准教授）

【2024 年度】

第 1 回)

研究者間の自由な意見交換・交流によって研究連携を深めることを目的に、交流会を主として開催しました。また、KGRI にて制作した Hidden Jewels 等のセミナーや座談会の動画を会場で映写し、参加者からの感想、コメントをいただくことで、研究広報の充実化を図りました。

開催日時	2024 年 7 月 19 日（金）17:00-19:30
場所	三田キャンパス北館 1 階 ファカルティクラブ
研究者交流会	・ KGRI の紹介、KGRI 研究者交流会についての説明 ・ 各研究者間の交流、意見交換 ・ KGRI 制作動画の映写



（KGRI 所長の君嶋先生による冒頭挨拶）

第 2 回)

KGRI 独自の研究補助金である KGRI Challenge Grant（2024 年度から運営開始、中間審査を経て最大 2 年間の研究補助）の採択者による成果発表および中間審査、研究者交流会を実施しました。

開催日時	2024 年 11 月 29 日（金）17:00-19:30
場所	三田キャンパス北館 1 階ホール、ファカルティクラブ

<第1部> 研究成果発表会 (中間審査会)	2024 年度 KGRI Challenge Grant 採択者 4 名： 筋野 智久（医学部 専任講師（学部内）（有期・医学部））、杉浦 裕太（理工学部 准教授）、峯島 宏次（文学部 准教授）、籠谷 勇紀（医学部 教授） ※発表順
<第2部> 研究者交流会	2024 年度 KGRI Challenge Grant 採択者を含む義塾内研究者による交流



（KGRI Challenge Grant 採択者による発表シーン）

第3回)

Hidden Jewels Session - Special Edition Vol1 - および「さきがけ」・「創発的研究支援事業」研究者 研究発表・交流会と合同で開催しました。

開催日時	2025 年 3 月 3 日（月） 15:00-18:30
場所	三田キャンパス北館 1 階 ファカルティクラブ
<第1部> Hidden Jewels Session -Special Edition Vol.1-	サロントーク 1. 「文系」研究は社会に必要なのか？ モデレーター: 山本 龍彦（法務研究科 教授（KGRI 副所長）） 登壇者 ・吉村 行夫 氏（株式会社電通 ラジオテレビビジネスプロデュース局 業務部長） ・徳島 大介 氏（日本電気株式会社 デジタルトラスト推進統括部 ディレクター） ・堀 潤 氏（株式会社わたしをことばにする研究所代表／ジャーナリスト） サロントーク 2. Research Showcase が目指すもの モデレーター: 樋口 亜由美（KGRI 特任准教授（URA）） 登壇者

	・山本 龍彦（法務研究科 教授（KGRI 副所長）） ・牛場 潤一（理工学部生命情報学科 教授） ・山口 徹（文学部 教授、研究連携推進本部 副部長） コメンテーター ・中妻 照雄（経済学部 教授（KGRI 所長）） ・清水 聡（商学部 教授）
<第2部> さきがけ・創発 ポスターセッション &交流会	・ポスターセッション発表者（発表順） 大松 亨介（理工学部化学科 教授）、南宮 湖（医学部 専任講師）、野村 周平（KGRI 特任教授）、藤井 進也（環境情報学部 准教授） ・交流会
動画リンク	https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#special-contents



（第1部：サロントーク2でのディスカッションシーン）

3) 「さきがけ」・「創発的研究支援事業」研究者 研究発表・交流会

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する研究推進事業「戦略的創造研究推進事業さきがけ」と「創発的研究支援事業」に採択された義塾研究者間の交流機会提供および研究者の連携促進を目的に、研究紹介および学術的交流会を開催しています。

実績：

【2023 年度】

・研究発表・交流会

日時：2024 年 3 月 11 日（月）18:00～20:00 三田ファカルティクラブ（北館1階）

*各発表は動画化し、KGRI ウェブサイトにて公開しました。

日) <https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/emergence.html>

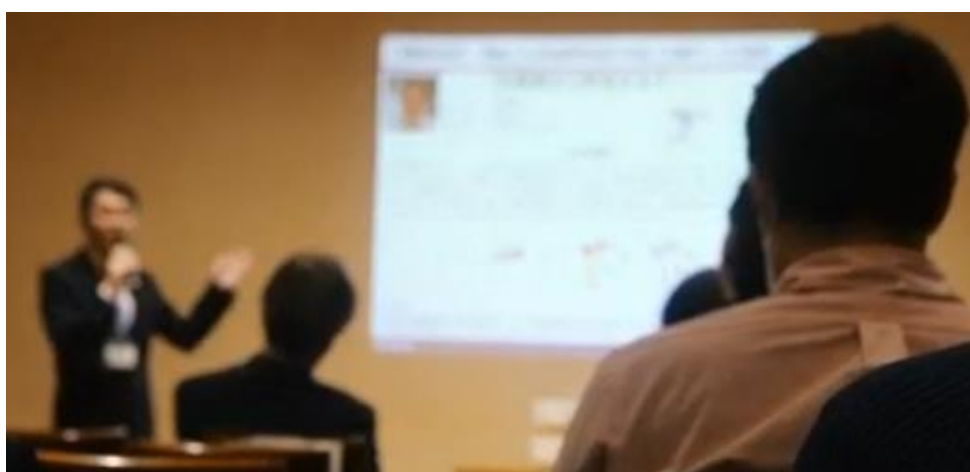
*本イベント開催後、「さきがけ」「創発」研究者のコミュニティ創りを目的に、Slack チャンネルを立ち上げました。

No.	研究・動画テーマ	発表者
1	さががけ・創発 研究発表会 ダイジェスト版	全発表のダイジェスト
2	非膜性構造体内部における分子挙動の階層統合的理解	山本 詠士（理工学部システムデザイン工学科 専任講師）
3	非癌肺オルガノイドを用いた発癌プロセス本態解明と先制医療への応用	安田 浩之（医学部内科学（呼吸器）准教授）
4	パンデミックに対してレジリエントな研究体制構築のための基盤研究	南宮 湖（医学部感染症学 専任講師）
5	血球細胞 DNA メチル化変化を標的とした新規腎臓病治療戦略の開発	林 香（医学部内科学（腎・内・代）教授）
6	創る生物学により迫る生命の設計原理	藤原 慶（理工学部生命情報学科 准教授）
7	免疫の役者による脳発生および機能解明	森本 桂子（医学部解剖学 助教）
8	化学修飾に立脚した環境曝露と腸内細菌の新たな関係	秋山 雅博（薬学部薬科学科 特任講師）
9	合成生物学的手法による抗生物質の自在合成基盤の確立	湯澤 賢（政策・メディア研究科 特任講師）
10	新しい保健システム構築のための実証的な疾病負荷研究	野村 周平（医学部医療政策・管理学 特任准教授）
11	ナノデバイスによるマルチモード	田中 貴久（理工学部電気情報工学科 専任講

	ルガスセンシング	師)
12	小腸難病疾患の1細胞レベル時空間的解析を利用した創薬シーズの探索	筋野 智久 (医学部内視鏡センター 専任講師)



(伊藤塾長による冒頭挨拶)



(「さきがけ」、「創発的支援事業」研究者によるフラッシュトーク)

【2024 年度】

・研究発表・交流会

日時：2025年3月3日(月) 15:00～18:30 三田ファカルティクラブ(北館1階)

* Hidden Jewels Session - Special Edition Vol1 -、研究成果発表会・研究者交流会と合同開催

・発表動画

No.	研究・動画テーマ	発表者
1	オルソゴナル結合変換が拓く新しい合成化学	大松 亨介 (理工学部 教授)

2	ネクストパンデミックにレジリエントな研究体制構築	南宮 湖（医学部 専任講師）
3	新しい保健システム構築のための実証的な疾病負荷研究	野村 周平（KGRI 特任教授）
4	多感覚グローブ感創発の機序解明と音楽芸術表現への応用	藤井 進也（環境情報学部 准教授）
動画リンク： https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#jst		



（ポスターセッションの発表シーン）

4) 海外に向けてのトップレベル研究者向け論文情報配信

国際研究連携の創出を目的に、慶應義塾内研究者の論文情報の配信を行います。

実績：

【2023 年度】

Clarivate 社の論文配信サービスを利用し、Web of Science のデータベース中で慶應義塾に所属する研究者による論文で引用数の多いもの、特に 2023 年度については、1) 慶應がフューチャーしたい研究者（Hidden Jewels 被推薦者、さががけ・創発的研究支援受給者、スタートアップ、プレ・スタートアップ採択者、2023 年 11 月"OIST-KEIO Showcase Talk Series"参加者）を含める、2) 人文社会科学分野のものを含める、3) ジェンダーバランスの 3 点を考慮し、KGRI にて選抜した学内研究者 18 名が執筆した論文を、同じ研究領域の著名な海外の研究者各 1,000 名宛にメール配信しました。

これにより、国際的研究協力の機会が増えることが期待されます。

【2024 年度】

前年度まで実施していた Clarivate 社の論文配信サービスに代わり、より広く研究成果を発信するためのニュースリリース配信プラットフォームを検討するため、EurekAlert と AlphaGalileo の 2 社のサービスを通じて安藤 和也 理工学部准教授の論文をニュースリリースとして配信しました。

5) Keio Research Showcase 構築

慶應義塾のサイテーションとレピュテーションの向上および、研究のネットワーク展開に資する戦略的な広報基盤の拡充を図ることを目的とし、最新の生成 AI 技術を活用した情報発信ポータルサイトの構築を進めています。これにより、慶應義塾の全研究者の研究の魅力を発掘し、多様なステークホルダーに対して多様なメディアを活用し情報発信する基盤の構築を目指します。また、J-PEAKS 事業とも連動しながら、J-PEAKS 事業だけではなし得ないユニークな情報プラットフォームの開発を行っています。

J-PEAKS 事業と連動した Research Showcase ポータルサイトの構築

慶應義塾の魅力的な研究や研究者の情報を集約し、情報コンテンツを国内外に発信する「Keio Research Showcase」ポータルサイトの構築に着手しました。本ポータルより、Hidden Jewels 企画等により制作した動画コンテンツの視聴や、AI チャットボット「しらべて！ユキチくん」による研究者情報の検索が可能となります。また、ポータルサイトには会員機能も搭載し、会員がマイページにてお気に入り動画や研究者をブックマークできるよう準備を進めています。ポータルサイトは 2025 年 5 月のリリースを予定しており、リリース後も、魅力的なコンテンツを増やし、情報拡充を進めていきます。

生成 AI システム構築

研究者情報および、研究情報を一元管理し、研究者の研究概要を要約して魅力を発信するための基盤システムの開発を行っており、2024 年度は以下の開発作業を実施しました。

- 1) データベース構築に必要な研究者ごとの ID の整理
- 2) 情報収集方法の検討とシステム設計
- 3) 生成 AI を活用した研究概要の作成
- 4) AI を使った研究情報および研究者情報の検索システムの構築

Special Contents 動画シリーズ制作

Research Showcase 構築の一環として、研究や研究者を深堀する Special Contents 動画シリーズを制作しました。

2024 年 7 月には、歌手・女優・作詞家で塾員である一青窈氏をお迎えし、「ことばの交錯、学びの連環」と題したトークイベントを開催しました。イベントには、一青氏と大学時代から親交の深い牛場潤一理工学部教授、山本龍彦法科大学院教授・KGRI 副所長が登壇し、和やかなトークが展開されました。本イベントのダイジェスト動画を制作し、Special Contents Series Vol.1 として KGRI ウェブサイトに掲載しました。 (<https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/162550.html>)

Special Contents Series Vol. 2 および Vol. 3 は、本学の人文社会学系の研究者（文学部・山口徹教授、商学部・佐々木美帆准教授）をフィーチャーしたヒューマンドキュメンタリー調の動画を、元 NHK 記者の堀潤氏に制作依頼し、2025 年 3 月に 2 制作が完成しました。

(<https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/index.html#special-contents>)

国際的研究連携の推進

1) OIST-KEIO Showcase Talk Series

概要：

沖縄科学技術大学（OIST）とは、2020 年から医学部との交流が行われていたことから、2022 年 8 月に全学的な連携協定「科学・学術協力に関する基本協定」を締結しました。現在は医学部に加えて、全学を対象とした組織的な交流を継続的に実施しており、2024 年 9 月は慶應義塾で、2025 年 1 月には OIST にて Showcase Talk を開催し、双方の研究者交流が促進されました。OIST は科学技術を専門とする大学院大学・研究機関ですが、医学部および人文社会学を有する本学との連携により、新しい連携領域を広げることを目指しています。本学においては、OIST の世界レベルの先端研究との連携に加えて、英語が完全な公用語となっている OIST との連携により、研究連携および人材の国際化推進を図ることを期待しています。

実績：

【2023 年度】

”Science Meets Society: Exploring the Nexus of Planetary Well-being for a Sustainable Future.”

主催：慶應義塾大学と沖縄科学技術大学院大学（OIST）の共催

日時：2023 年 11 月 16 日（木）～ 11 月 17 日（金）（全日）

会場：OIST (Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University)/Zoom Hybrid
開催

日) <https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/154770.html>

英) <https://www.kgri.keio.ac.jp/en/news-event/154770.html>

Keio-OIST Research Showcase Event 参加者

- ・伊藤 公平 慶應義塾長
- ・天谷 雅行 常任理事
- ・君嶋 祐子 法学部教授/KGRI 所長
- ・金井 隆典 医学部長
- ・斎木 敏治 理工学研究科委員長
- ・廣瀬 陽子 総合政策学部教授
- ・稲熊 律夫 KGRI 特任教授
- ・菅澤 翔之 助経済学部准教授：ペイズ統計,時空間統計,状態空間モデリング,数理統計,ロバスト統計,医療統計
- ・村松 真由 理工学部准教授：固体力学、マルチフィジックスシミュレーション
- ・新 幸二 医学部准教授：微生物学・免疫学
- ・山本 詠士 理工学部専任講師：生体膜や蛋白質、コロイド、ソフトマター、ナノ・マイクロ熱物質輸送
- ・八木 洋 医学部講師：消化器外科（肝胆膵外科、移植外科、再生医療研究）
- ・筋野 智久 医学部講師：消化器外科
- ・楠本 大 医学部助教：循環器内科（シングルセル解析、血管生物学、再生医療、幹細胞分子生物学）
- ・高杉 聡 医学部大学院 3 年：生理学
- ・駒村 圭吾 法学部教授：憲法、言論法
- ・小久保 智淳 法学部後期博士課程：認知過程の自由——憲法学と神経科学
- ・大学院生 3 名



参加者による集合写真（提供：OIST/[Micheal Cooper] (CC BY 4.0)）

【2024 年度】

OIST- KEIO Showcase Talk Series 6／YIL プレイベント Science meets Society：From Symbiotics to Enactive Minds

日時：2024 年 9 月 25 日(水)（全日）

開催形式：対面/（学内限定）Zoom 開催

会場：矢上イノベーションラボラトリー（YIL）

参加費：無料

【登壇者】

（OIST）

- ・トム・フロース 身体性認知科学ユニット准教授
（慶應義塾）
- ・斎木 敏治 理工学研究科委員長
- ・牛場 潤一 理工学部教授
- ・井本 由紀 理工学部准教授
- ・ダット, チャル 理工学部専任講師
- ・松田 英子 理工学部専任講師

日のみ) <https://www.keio.ac.jp/ja/news/20241010-1/>



OIST-KEIO Showcase Talk Series 7「科学と社会の出会い：生命科学への学際的アプローチの最前線」開催（2025.1.31 開催）

日時：2025年1月31日(金)（全日）

開催形式：対面/（学内限定）Zoom 開催

参加費：無料

使用言語：英語（通訳無し）

【登壇者】

（慶應義塾）

- ・天谷 雅行 研究担当常任理事／医学部教授
- ・長谷 耕二 研究連携推進本部長／薬学部教授
- ・中妻 照雄 KGRI 所長／経済学部教授
- ・板口 典弘 文学部准教授
- ・牧野 浩史 医学部教授
- ・鈴木 邦道 WPI-Bio2Q Jr. PI
- ・小田 真由美 医学部特任講師
- ・川上 途行 医学部准教授

日) <https://www.oist.jp/ja/news-center/news/2025/2/28/oist-and-keio-university-host-showcase-event>

英) <https://www.oist.jp/news-center/news/2025/2/28/oist-and-keio-university-host-showcase-event>



若手研究者の育成事業

概要：

若手研究者を中心として、学際・領域横断研究プロジェクトの創成につながる支援策を実施します。

1) 人文学・社会科学・学際融合系研究プロジェクト支援

KGRI の課題の一つである人文学・社会科学・学際融合系研究プロジェクト支援の強化について、2024 年度より学内の人文学・社会科学系若手研究者の支援を目的とした KGRI 人文社会研究補助金（KGRI Humanity and Social Science Grant（KGRI HSS Grant））の運営を試験的に開始しました。

実績：

【2024 年度】

KGRI 人文社会研究補助金（KGRI HSS Grant）採択者：

No.	研究課題名	研究推進者	補助額
1	時空間データに対するベイズ統計学的分析手法の開発と応用	菅澤 翔之助（経済学部 准教授）	150 万円
2	不安・うつ・痛みを軽減する内受容感覚トレーニングアプリの開発	寺澤 悠理（文学部 准教授）	150 万円
3	自然言語処理アプローチによるヒト意味構造の階層的ダイナミクスの解明	板口 典弘（文学部 准教授）	150 万円
4	社会性と情緒の学習—文化と身体的学習の側面から—	林 安希子（商学部 准教授）	150 万円
5	文化・地域資源を活用した社会福祉サービスの設計	佐藤 千尋（メディアデザイン研究科 准教授）	150 万円

2) 人文・社会科学系の研究プロモーション

実績：

【2024 年度】

人文学・社会科学系研究者を中心とした社会課題解決のための領域横断型研究プロジェクトを立ち上げることを目的に、外部のアカデミック・インキュベーターへの業務委託を実施して研究者リサーチおよび社会ニーズ調査を行い、研究プロジェクト素案を策定しました。

以上

※所属および職名は、講演もしくは収録時点のものです。